

令和2・3年度 熊本県教育委員会指定 防災教育研究推進校

本校は、県教育委員会から令和2・3年度の「防災教育研究推進校」の指定を受けています。その活動の一環として、6月に「緊急時保護者による引き渡し訓練」を行い、昨年11月の土曜授業で「CSの日 防災教室」を行いました。今年度は11月6日(土)に実施予定です。訓練を行うことで課題が見え、より安心安全な生活ができるように工夫・改善を行っています。

また、7月には、「熊本地震を語りつぐ」防災士の柴田先生をお招きし、5年生に防災・減災についての授業を行っていただきました。災害のことや自助のことなどについて、クイズや対話を取り入れながら、分かりやすく楽しく学ぶことができました。



学校運営協議会の取り組み ～輝塾・CS委員講話・防災教室合同会議～

コロナ禍にあっても、宮原小学校運営協議会の活動は活発に行われています。

5月からは、6年生が参加する輝塾(放課後学習会)が始まりました。例年は八火図書館で行っていましたが、昨年度から学校の図書室などでコロナ対策を講じながら行われています。

10月5日(火)には、CS委員の村山さんが「祭りにかける思い」と題して、5・6年生に「三神宮」の祭りについて講話をしてくださいました。

また、11月6日(土)に行う防災教室の合同会議を関係者で行い、CS委員が中心となって活動内容や準備・担当者決めなどについて話し合いました。



皆さんに支えていただいています!

ボランティア「おはなし さくらんぼ」による読み聞かせが行われています。今年度は新たな取り組みとして「読み返し活動」を行っており、児童の音読をボランティアの皆さんに聞いていただいています。また、6年生の家庭科では地域の皆さんにミシン指導をしていただきました。さらに、宮原地区の農家の有志の皆さんから、1年生と新しく来た職員に、い草座布団がプレゼントされました。いろんな人たちに宮原小は支えていただいています。ありがとうございます。



輝け!宮っ子

「『豊かな心』を持ち、主体的に考え・判断し、より良く生きる宮っ子の育成」

<宮原小のめざす児童像>

- (健) いきいきとし夢を持つ子
・健康で健やかなのびのびと明るい心身
- (根) 粘り強くがんばる子
・根気強く粘り強い学習や仕事
- (信) 互いに信頼し思いやりのある子
・互いに約束を守り信頼し合える生活

すくーらいふ ～宮原小学校～ School Life



児童一人ひとりが大切にされる宮原小をめざして

本校では、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる児童、人とつながる力を持った児童を育てる取り組みを進めています。

新学期に運営委員会の児童が、「えがおの宮っ子」宣言を行い、「えがおで、がんばりぬく、おもいやりのある、のびのびそだつ宮っ子」、お互いを思いやるやさしい宮っ子を目指そうと呼びかけています。



あいさつ運動一斉行動の日 ～毎月15日(あいさつ運動・ノーテレビノーゲームデー)～

コミュニティ・スクールの取り組みの一環で、子どもたちが安心して暮らせる町づくりを目的として、学校・家庭・地域・行政が一体となって「あいさつ運動一斉行動の日」を毎月15日の朝に実践しています。

また、PTAや児童会もこの運動と連携した、「ノーテレビ・ノーゲームデー」や「あいさつ運動」に取り組んでいます。



<全学年> 戦争の悲惨さや平和の大切さと尊さを学ぶ平和学習

戦争の悲惨さや、平和の大切さと尊さを学び合い、平和な社会を築いていこうとする態度を育てるために毎年開催しています。今年は、4年生が「青い目の人形」について廣松さんからお話を聞き、平和の意義について深く考えました。

